



環境経営レポート

2023年度

旭電気工業株式会社

対象期間：2023年10月1日～2024年9月30日



【目次】

項目	ページ
環境経営方針	1
組織の概要（事業者名、所在地、事業の概要、事業規模等）	2
対象範囲（認証・登録範囲）	2
環境経営活動組織図及び役割・責任・権限	3
主な環境負荷の実績	4
環境経営目標及びその実績	4
環境経営計画の取組結果とその評価	5
当社取組のSDGsの目標	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	7
代表者による全体評価と見直し・指示	7
社会貢献活動	8

発行日：2024年10月21日

□ 基本理念

旭電気工業株式会社は、昭和37年の設立以来、電気設備工事を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。全従業員が地球環境の保全の重要性を認識し、環境負荷の低減に努めることにより、美しい国土の維持、人と環境が共存する社会を目指して取り組んでまいります。

□ 環境経営方針

旭電気工業株式会社は、地球環境保全への取組が重要課題であることを認識し、経営における課題とチャンス定期的に明確化し、従業員一人一人が自主的、積極的に環境負荷を削減すると共に、地域社会における環境保全活動に積極的に参画し、社会貢献活動を推進します。環境経営の継続的改善に努めます。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します。
3. 事務所での廃棄物の削減を推進します。
4. 現場等でのリサイクル、再生資源の利用を推進します。
5. 水使用量の削減を推進します。
6. 環境に配慮した施工技術の客先への提案を推進します。
7. 環境経営方針を全従業員に周知徹底します。

制定日：2013年4月18日
改定日：2018年12月7日
旭電気工業株式会社
代表取締役
金藤 泰祥

(1) 事業者名及び代表者氏名

旭電気工業株式会社

代表取締役 金藤 泰祥

(2) 所在地

本 社 〒654-0036 兵庫県神戸市須磨区南町1丁目3-24

(3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先

環境管理責任者 代表取締役 金藤 泰祥

担当者 経理部 岩元 妙子

連絡先 (TEL) 078-732-4855

E-mail : asahi_elec@tkcnet.ne.jp

(4) 事業内容

電気設備工事の設計・施工

許可の内容

建設業許可：兵庫県知事 許可（特一3）第101782号

許可の有効期間 令和4年3月31日～令和9年3月30日

* 許可内容追加

(5) 事業の規模

設 立：1962年6月27日

資本金：2,100万円

売上高：16,340万円（2023年度）

従業員数：7名

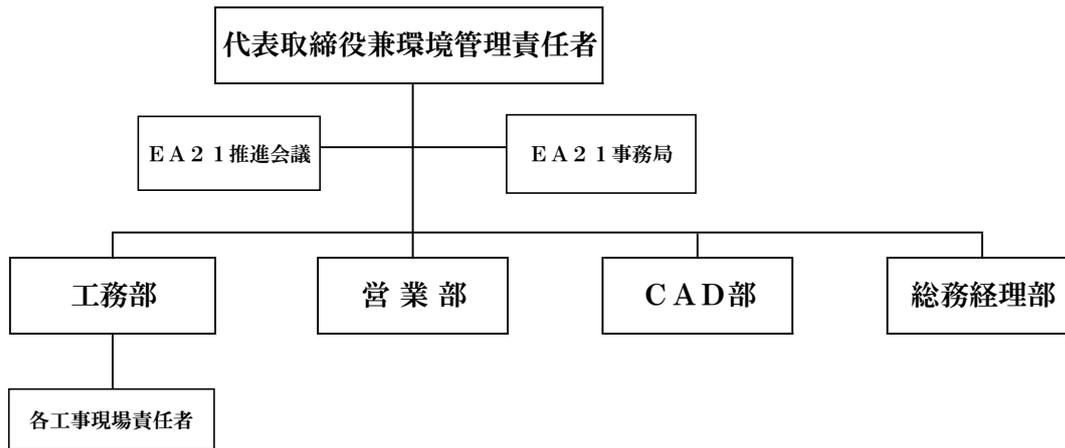
延床面積：348.3㎡

(6) 事業年度

10月～翌年9月

【対象範囲】認証・登録

全組織、全活動を対象範囲とする。



	代表取締役・全体の評価と見直し・指示を実施
代表取締役（最高責任者）兼環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用等の準備 ・代表者による課題とチャンスの作成、定期的に見直し ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標・経営計画書の作成・確認・承認と実施状態の評価 ・全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの作成・確認・承認 ・環境関連法規などの取りまとめ表の作成と承認 ・環境委員会の取りまとめ ・環境への負荷及び取組の自己チェック記録の作成・確認・承認 ・外部からの苦情や要望等の受付と対応処理 ・緊急事態の想定及び対策の作成、訓練の実施と確認 ・問題点の是正処置及び予防処置の対応、結果の確認
EA21推進会議 (EA21事務局)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営活動計画の審議 ・環境経営活動実績の確認・評価 ・EA21推進会議は月1回実施する。 ・代表者が議長を務める。
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚。 ・自主的・積極的に環境活動へ参加。

□ 主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年度 基準年度	2022年度	2023年度
電力使用量	kWh	15,816	14,319	14,617
電力CO2排出量	kg-CO2	5,283	4,782	4,882
ガソリン使用量	L	2,470	1,772	2,075
ガソリンCO2排出量	kg-CO2	5,730	4,111	4,814
二酸化炭素排出量 (合計)	kg-CO2	11,013	8,893	9,696
一般廃棄物排出量	kg	778	749	749
産業廃棄物排出量	kg	1,540	1,694	1,682
廃棄物排出量 (合計)	kg	2,318	2,443	2,431
水使用量	m ³	312	232	210

※化学物質は使用していません

※CO2排出係数：0.334 (kg-CO2/kWh) 2018年度関西電力調整後排出係数

※ガソリン：二酸化炭素排出係数 2.32kg-CO2/L

□ 環境経営目標・実績

*達成率：(目標÷実績) 100%基準

向上率：(実績÷基準値) 100%基準

環境経営目標	単位	基準年度	2023年度		2024年度	2025年度
		2018年度 (基準値)	(目標)	実績 (達成率)	(目標)	(目標)
電力使用量	kWh	15,816	15,342	14,617	15,183	15,183
	基準年度比	達成率	103%	105%	96%	96%
ガソリン使用量	L	2,470	2,396	2,075	2,371	2,371
	基準年度比	達成率	103%	115%	96%	96%
水道使用量の削減	m ³	312	309	210	300	300
	基準年度比	達成率	101%	147%	96%	96%
一般廃棄物排出量の削減	kg	778	770	749	747	747
	基準年度比	達成率	101%	103%	96%	96%
産業廃棄物排出量の削減	kg	1,540	1,525	1,682	1,478	1,478
	基準年度比	達成率	101%	91%	96%	96%
環境配慮工法の提案	件	9	10	3	13	13
	基準年度比	向上率	110%	30%	140%	140%

□ 環境経営計画の取組内容とその評価、次年度の取組内容

取組内容の達成状況：◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった
 達成率：削減目標＝（目標÷実績）×100％ 向上目標＝（実績÷目標）×100％

取組内容	達成状況	継続/変更	評価と次年度の取組み内容
電力使用量の削減	達成率	105%	<目標達成> ①エアコンの使用率がやや多かった。 ②年々、休憩中の消灯は徹底できている。 ③階段での消し忘れなど、不要照明の消灯を徹底できている。 昼休みなど長時間不使用時にはoffにした。
①空調の適正化（冷房28℃・暖房20℃）	○	継続	
②昼休みの事務所の消灯	◎	継続	
③不要照明の消灯	◎	継続	<次年度> ①エアコン使用率を抑える努力する。 ②～④を継続実施し、節電に努めること。
④設備の空転禁止	◎	継続	
ガソリン使用量の削減	達成率	115%	<目標達成> ①もっと意識をしエコドライブを実行する。 ②普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。 ③もっと無駄を省く計画性が必要と思われる。
①アイドリングストップ	○	継続	
②急加速・急停車の防止	○	継続	<次年度> ①～③を継続実施し、無事故無違反に努めること。
③効率的な移動	○	継続	
水道使用量の削減	達成率	147%	<目標達成> ①節水の呼びかけにより達成できたが、より徹底をはかる。 ②漏水箇所の定期的に点検があまりできていなかった。 ③より多くの工夫ができるようにする。
①節水の周知徹底	○	継続	
②漏水の定期的点検を実施する。	△	継続	<次年度> ①～③を継続実施し、節水に努めること。
③清掃時・手洗い時の節水	○	継続	
一般廃棄物の削減	達成率	103%	<目標達成> ①FAXからメール送受信にまずまずできている。 ②社内用のコピーは裏紙を利用し、メモ等も使用している。 ③社内で利用できる場所は使用している。
①FAXからメール送受信に切替	○	継続	
②裏紙利用の推進	◎	継続	<次年度> ①～③を継続実施し、一般ごみの削減に努めること。
③使用済封筒の再利用	○	継続	
産業廃棄物の削減	目標未達	91%	<目標達成> ①正確な排出量を把握する工夫をする。 ②分別ができ、状態が把握できるようになった。 ③社内で利用できる場所は使用している。
①実態調査	○	継続	
②素材ボックスの設置	○	継続	<次年度> ①～③を継続実施し、一般ごみの削減に努めること。
③資源ゴミ回収先の開拓	○	継続	
環境配慮工法の提案	目標未達	30%	<目標達成> ①LED照明等、消費力の少ない商品を顧客へ提案・PRに努める。 ②客先、物件のリストアップもまずまずできた。
①営業戦略のとりまとめ	○	継続	
②客先、物件のリストアップ	○	継続	<次年度> ①～②を継続実施し、売上高に努めること。

□当社取組のSDG s の目標



当社取組のSDG s の目標		6	7	11	12	13	15	17
CO2 排出量 削減	軽油	アイドリングストップ			○			
		急加速・急停止の防止			○			
		効率的な移動			○			
	電気	空調の適正化（冷房28℃・暖房20℃）		○			○	
		昼休みの事務所の消灯		○			○	
		不要照明の消灯		○			○	
		設備の空転禁止		○			○	
水道使用量の削減	節水の周知徹底	○						
	漏水の定期的点検を実施	○						
	清掃時・手洗い時の節水	○						
分別リサイクル ・ 産業廃棄物	一般廃棄物	FAXからメール送受信に切替				○		○
		裏紙利用の推進				○		
		使用済封筒の再利用					○	
	産業廃棄物	実態調査					○	
		素材ボックスの設置					○	
		資源ゴミ回収先の開拓					○	
環境配慮工法の提案	営業戦略のとりまとめ		○					
	客先、物件リストアップ		○					

□ 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律および条令	マニフェスト伝票の管理 産廃処理業者実績報告書提出	遵守
自動車NOx・PM法	事業者の責務（規制対象区域の規制）（車検証） 大阪府適合車ステッカー制度終了	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの点検実施・記録の保管	遵守
消防法	消火器・火災報知機の定期点検	遵守
家電リサイクル法	消費者の責務（使用済特定家庭用機器の引渡義務） （テレビ、エアコン、冷蔵庫）	遵守

* 環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。
なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。また、訴訟もありません。

■ 内部コミュニケーション

・朝礼及び掲示板にエコアクション21の取り組み状況、達成状況掲示し全員に周知している。

■ 外部コミュニケーション

・外部から環境関連に関する苦情、要求はありませんでした。

□ 代表者による全体の評価と見直し・指示

(1) 全体の評価

二酸化炭素排出量（電気使用、ガソリン使用）水使用量の削減については良い結果を残すことができました。
環境配慮工法の提案については推進努力に努めたいと思います。

(2) 見直しの・指示

当社は良い地球環境や自然環境を次世代に残すための取り組みの大切さを社員全員が認識しエコアクション21に取り組んで来ました。今期は全ての目標も概ねを達成でき、更なる環境についての認識を高めていきたい。

項目	見直しの必要性	必要に応じて変更指示
環境経営方針	否	必要なし
環境経営目標	否	必要なし
環境経営計画	否	必要なし
実施体制	否	必要なし
その他の要素	否	特になし

2024年10月18日
代表取締役 金藤 泰祥

□ 社会貢献活動

【河川清掃活動】

